

科目名(英文名)	ナンバリング	単位数	年次	期間	担当者
知的財産情報検索分析要論【MR】 (Basic Study of Information for Intellectual Property)	MPCB09	2	1年次	前期	三浦 武範(ミウラ タケノリ) 杉山 典正(スギヤマ ノリマサ) 山田 繁和(ヤマダ シゲカズ)

授業のねらい概要	特許を中心とする知的財産情報データベースの活用について、主に特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)を利用した実践的な演習を通して理解を深める。企業や弁理士事務所での業務やインターンシップにおいて求められる、基本的な特許調査などを行えるようになることを目指す。
----------	---

回数	テーマ	授業の内容・教育方法	予習/復習
第1回	ガイダンス	講義内容の概説、講義の進め方や受講心得について説明する。特許調査の目的、利用できるデータベース全般について説明する。	復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(1.5時間)
第2回	特許文献の読解	J-PlatPatを利用して、公開公報や特許公報の見方について学ぶ。	テーマについて下調べをしておくこと。(1.5時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
第3回	キーワード等による調査(1)	J-PlatPatで、キーワード等を利用した調査について学ぶ。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
第4回	キーワード等による調査(2)	J-PlatPatで、キーワード等を利用した調査、近傍検索について学ぶ。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
第5回	特許分類を用いた調査(1)	特許分類のうち、IPC、FIを利用した調査方法について学ぶ。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
第6回	特許分類を用いた調査(2)	特許分類のうち、Fタームを利用した調査方法について学ぶ。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
第7回	特許分類を用いた調査(3)	特許分類を組み合わせた調査方法について学ぶ。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
第8回	検索式の立て方(1)	キーワードや分類を組み合わせた検索と検索式の作り方について学ぶ。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
第9回	検索式の立て方(2)	キーワードや分類を組み合わせた検索と検索式の作り方について学ぶ。	テーマについて下調べをしておくこと。(3時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(3時間)
第10回	商用データベース	特許等に関する商用データベースの利用方法について解説する。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
第11回	特許マップ作成(1)	Excel等を利用した特許マップの作成について学ぶ。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
第12回	特許マップ作成(2)	Excel等を利用した特許マップの作成について学ぶ。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
第13回	商標調査	商標調査全般について解説する。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
第14回	意匠調査	意匠調査全般について解説する。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
第15回	総合演習・まとめ	演習形式で全般的な特許調査を行う。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(3時間)

到達目標	知的財産に関するデータベースの活用方法について、特許調査の具体的事例の演習等を通じて理解し、企業や弁理士事務所での業務やインターンシップにおいて求められる、基本的な特許調査などを行えるようになることを到達目標とする。特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)において特許分類やキーワードを用いた検索式を適切に作れるようになること、Excel等を用いて簡単な特許マップを作成できることがミニマム・リクワイアメントである。
評価方法	適宜課される演習課題の提出(50%)、および、レポートや質疑を含む平常点(50%)による評価
成績評価基準	A: 到達目標項目について、全てを総合して平均90%以上の達成度で実施できている。 B: 到達目標項目について、全てを総合して平均80%以上90%未満の達成度で実施できている。 C: 到達目標項目について、全てを総合して平均70%以上80%未満の達成度で実施できている。 D: 到達目標項目についてミニマム・リクワイアメントを充たし、全てを総合して平均60%以上70%未満の達成度で実施できている。 F: 上記以外

教科書			参考書		
書名	著者名	出版社名	書名	著者名	出版社名

受講心得	本講義は録画形式メディア授業【MR】対応科目です。 オンラインデータベースの利用に適したノートPCを持参すること。 参考文献やウェブ上のリソースについては講義中に適宜紹介する。課題や演習で理解が不十分な箇所については授業内で補足・解説を行う。
------	---

オフィスアワー	水曜5限(三浦研究室・1号館10階) 火曜3限(山田研究室・1号館9階) 月曜5限(杉山研究室・1号館10階)
---------	---